

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学研究科
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究者の交流など学部として可能な国際交流を進める。	→ 「外国から招聘するゲストの人数」「研究科メンバーの国際学会出席など国際的な研究活動の頻度」	C	C	C	/	/
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	環太平洋乳幼児国際学会へ参加、研究発表をおこなった教員が1名いたが、そのほかの活動についてはなかった。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学研究科】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	/	/	—	—	—	—		
指標2	国際交流協定締結国数		国	/	/	—	—	—	—		
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	/	/	—	—	—	/	累計数	
		外国人留学生	正規	人	/	/	2	1	0	0	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	/	/	33.3	11.1	0	0	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	/	/	0	0	0	/	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	/	/	—	—	—	/				
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	/	/	—	—	—	/	累計数	
		人数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	/	/	0	0	0	/	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
短期	%		/	/	0	0	0	/			
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	/	/	—	0	0	/	・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)